



2019年度（2020年3月期） 第2四半期決算 説明会



I. 2019年度第2四半期決算の概要

全体概要、グループ別、売上収益・営業利益増減内訳、
海外地域別、受注・立上状況、協創、通期見通し

II. 中計戦略（コア領域の強化と新たな成長機会の獲得）

エコシステムの形成、ECプラットフォーム、SSCV、
デジタルトランスフォーメーション

III. 補足資料について

IFRS第16号適用影響、財政状態、キャッシュ・フローの状況、
主要財務指標他

(単位：億円、端数四捨五入、< >内は利益率(%))

	2018年度	2019年度				
	第2四半期累計	第2四半期累計			通期	
	実績	実績	前年同期比		見通し (10.30時点)	前期比
			比率	増減		
売上収益	3,524	3,408	97%	-116	7,000	99%
営業利益 [※]	<4.2> 148.5	<4.8> 165.2	111%	16.7	<4.9> 340.0	109%
EBIT (受取利息及び支払利息 調整後税引前四半期利益)	<4.2> 148.2	<5.7> 195.9	132%	47.7	<5.7> 402.0	111%
親会社株主に帰属する 四半期利益	<2.4> 83.2	<3.2> 108.8	131%	25.6	<3.1> 220.0	97%

※本資料中の営業利益は、「調整後営業利益」を記載

2019年度第2四半期決算の概要【グループ別】

物流は新領域へ

LOGISTEED

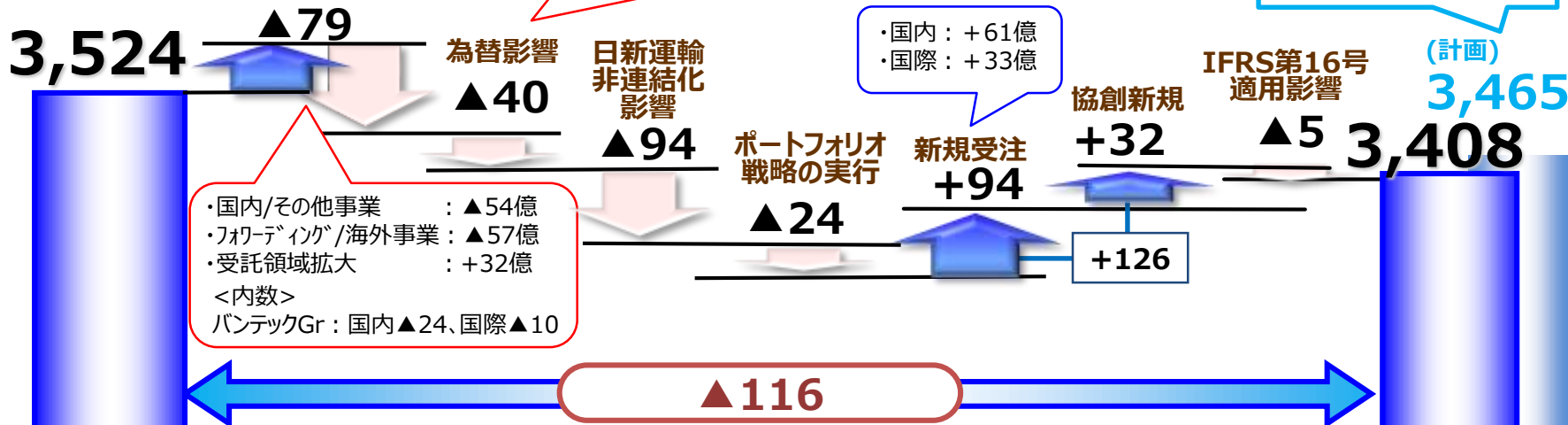
(単位：億円、端数四捨五入、< >内は構成比(%)、()内は増減差)

			売上収益			営業利益	
			第2四半期累計		前年同期比	第2四半期累計	前年同期比
オーガニック	国内物流		<63>	1,856	104%	111.8	120%
	国際物流	海外	<29>	847	95%	33.8	105%
		国内会社計上分(フォワーディング他)	<6>	167	65%	1.1	(+1.5)
		計	<34>	1,014	88%	34.9	110%
	その他(物流周辺事業等)		<3>	93	88%	6.8	90%
	計		<100>	2,963	97%	153.5	116%
バンテックグループ	国内物流		<67>	329	91%	13.7	87%
	国際物流	海外	<33>	164	89%	3.2	62%
		国内会社計上分(フォワーディング他)	<0>	0	-	0.0	-
		計	<33>	164	89%	3.2	62%
	計		<100>	493	90%	16.9	81%
連結消去・バンテック顧客関連資産償却等			-	-48	(+13)	-5.2	(-0.1)
合計	国内物流		<64>	2,175	102%	121.4	115%
	国際物流	海外	<29>	993	【96%】 95%	35.9	【102%】 99%
		国内会社計上分(フォワーディング他)	<4>	152	【92%】 63%	1.1	【+3.7】 (+1.5)
		計	<34>	1,146	【96%】 89%	37.1	【114%】 103%
	その他(物流周辺事業等)		<3>	86	85%	6.8	90%
	計		<100>	3,408	97%	165.2	111%

✓【 】内は日新Gr非連結化影響を除いた比率 (一部増減差)

第2四半期累計 売上収益実績

(億円)



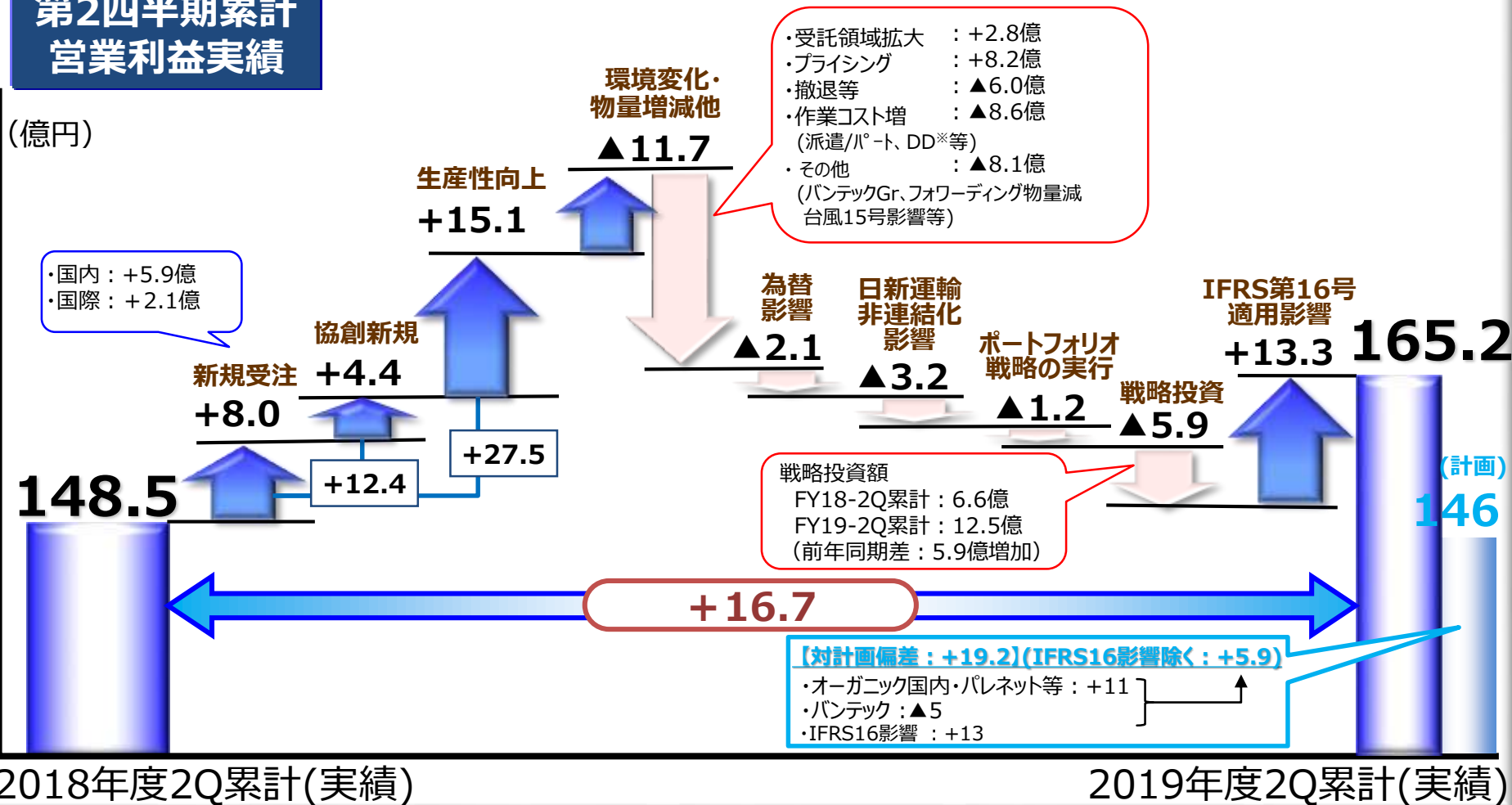
項目	環境変化・物量増減等			為替影響	日新運輸非連結化影響	ポートフォリオ戦略実行	新規受注	協創新規	IFRS 16号適用影響	計
	その他物量増減他	受託領域拡大	小計							
国内	-45	25	-20			-15	61	26	-5	47
国際	-57	7	-50	-40	-94	-1	33	4		-148
その他	-9		-9			-8		1		-15
計	-111	32	-79	-40	-94	-24	94	32	-5	-116

2018年度2Q累計(実績)

2019年度2Q累計(実績)

第2四半期累計 営業利益実績

(億円)



(単位：億円、端数四捨五入、()内は営業利益率)

項目	売上収益			営業利益		
	2018年度	2019年度		2018年度	2019年度	
	第2四半期 累計	第2四半期 累計	前年 同期比	第2四半期 累計	第2四半期 累計	前年 同期比
北米	226	220	98%	6.0	8.3	139%
欧州※1	353	330	93%	17.4	21.9	126%
アジア(中国除く)	225	202	90%	10.2	6.8	66%
中国	257	239	93%	5.4	2.3	42%
その他	19	20	106%	1.5	1.1	74%
連結消去等※2	-29	-17	-	-4.3	-4.5	-
計	1,050	993	95%	(3.5%) 36.2	(3.6%) 35.9	99%

※1. トルコは欧州に含む

※2. バンテック顧客関連資産償却は連結消去等に含む

2019年度2Q累計：受注・立上状況

(単位：件)

		2018年度	2019年度	
		第2四半期累計	第2四半期累計	前年同期増減
受 注	国 内	8	11	3
	国 際	5	4	-1
	計	13	15	2
立 上	国 内	13	11	-2
	国 際	5	3	-2
	計	18	14	-4

(参考1)2Qの主な立上案件

国内：【書籍】EC倉庫運営

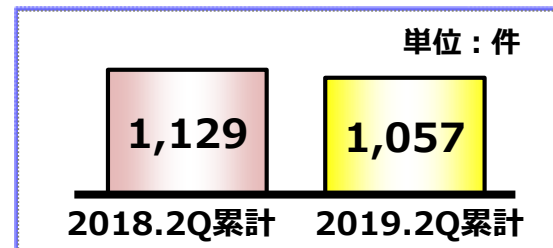
【衣類・化粧品】DC倉庫内作業・配送

【自動車部品】顧客構内作業運営

国際：【食品】チルド・ドライ倉庫運営

(参考2) 国内本部 受注件数の推移

<新旧定義・単発案件(重量機工等)・小規模案件含む>





建設機械パーツセンター運営



場所：シンガポール
時期：4月稼働

化粧品顧客向けDC運営



場所：中部地区
時期：7月稼働

燃料電池バス輸送



特殊トレーラー輸送
(石川～東京)

■ 2019年度2Q累計 新規積上げ分

(単位：億円)

	売上収益	営業利益
国内	26	3.5
国際	4	0.7
その他	1	0.2
協創効果	32	4.4

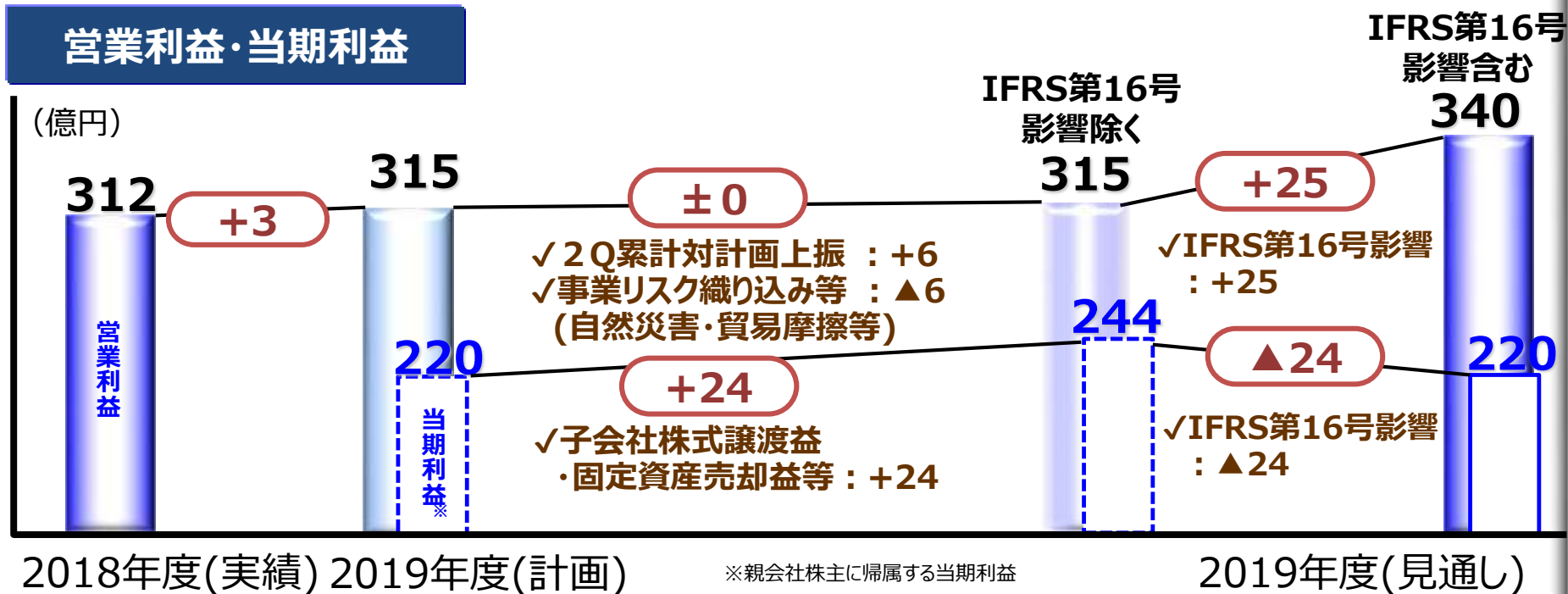
SGHとの協創目標値：

売上収益200億円は9月、営業利益20億円は8月にキャッチアップ ➡ さらなる協業効果の創出

[売上収益] 計画7,000億円・・・計画値より変更なし

[営業利益] 計画315億円→見通し340億円・・・IFRS第16号適用影響等を反映

営業利益・当期利益



2Q累計で計画偏差のあった事業においては、以下内容で見通しに織り込み

バンテックグループ※

（単位：億円）

	上期		下期		通期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
FY18(実績)	535	24	542	26	1,078	49
FY19(計画)	525	23	548	31	1,072	54
FY19(見通し)	実績 496	実績 18	490	25	986	43

顧客事業環境の影響による
物量減を織り込み

アジア地域※

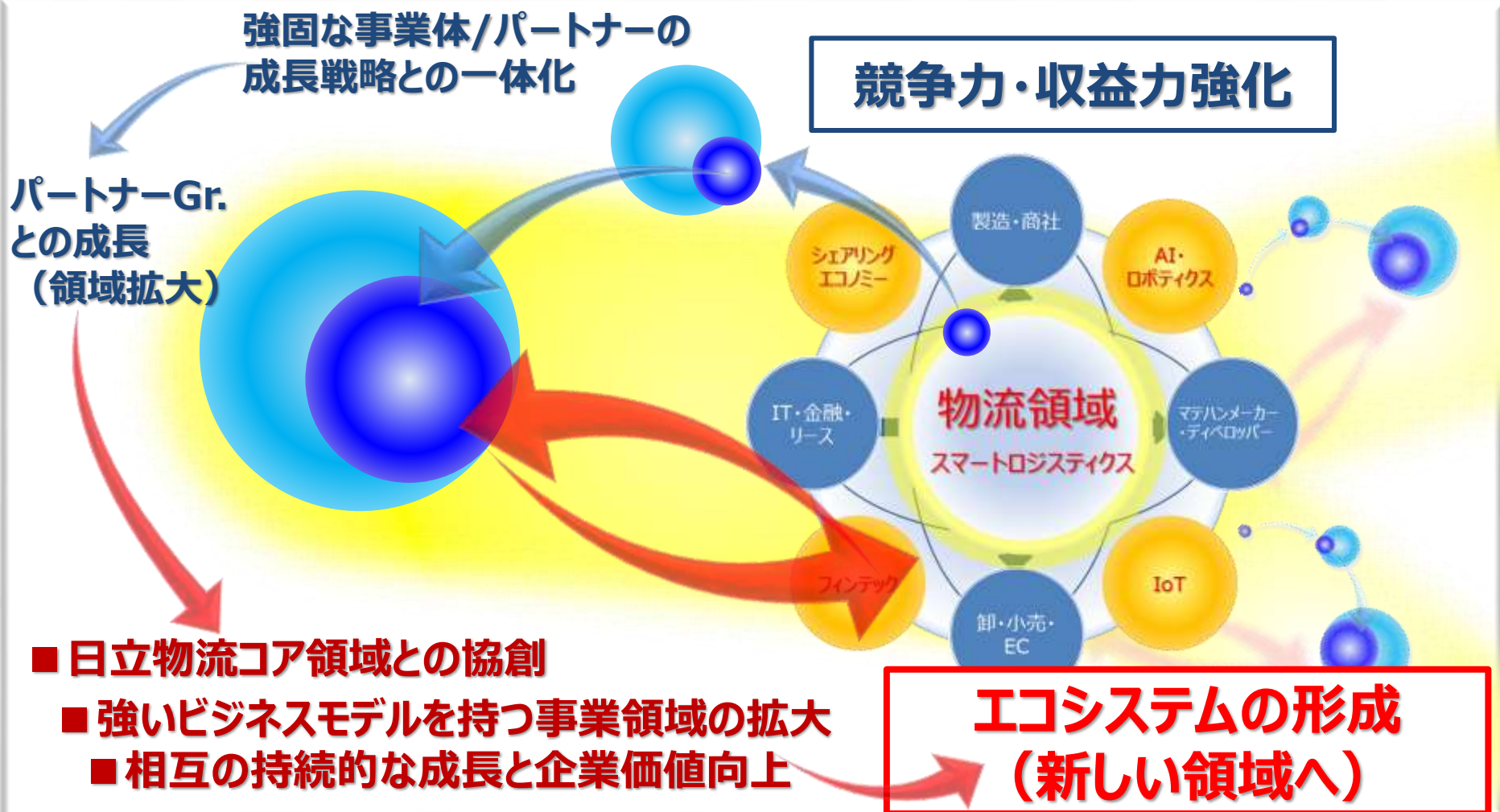
	上期		下期		通期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
FY18(実績)	229	13	268	14	497	27
FY19(計画)	223	12	230	14	453	26
FY19(見通し)	実績 214	実績 9	216	12	430	21

インド・タイにおける
フォーワーディング事業の
収益悪化等を織り込み

中国地域※

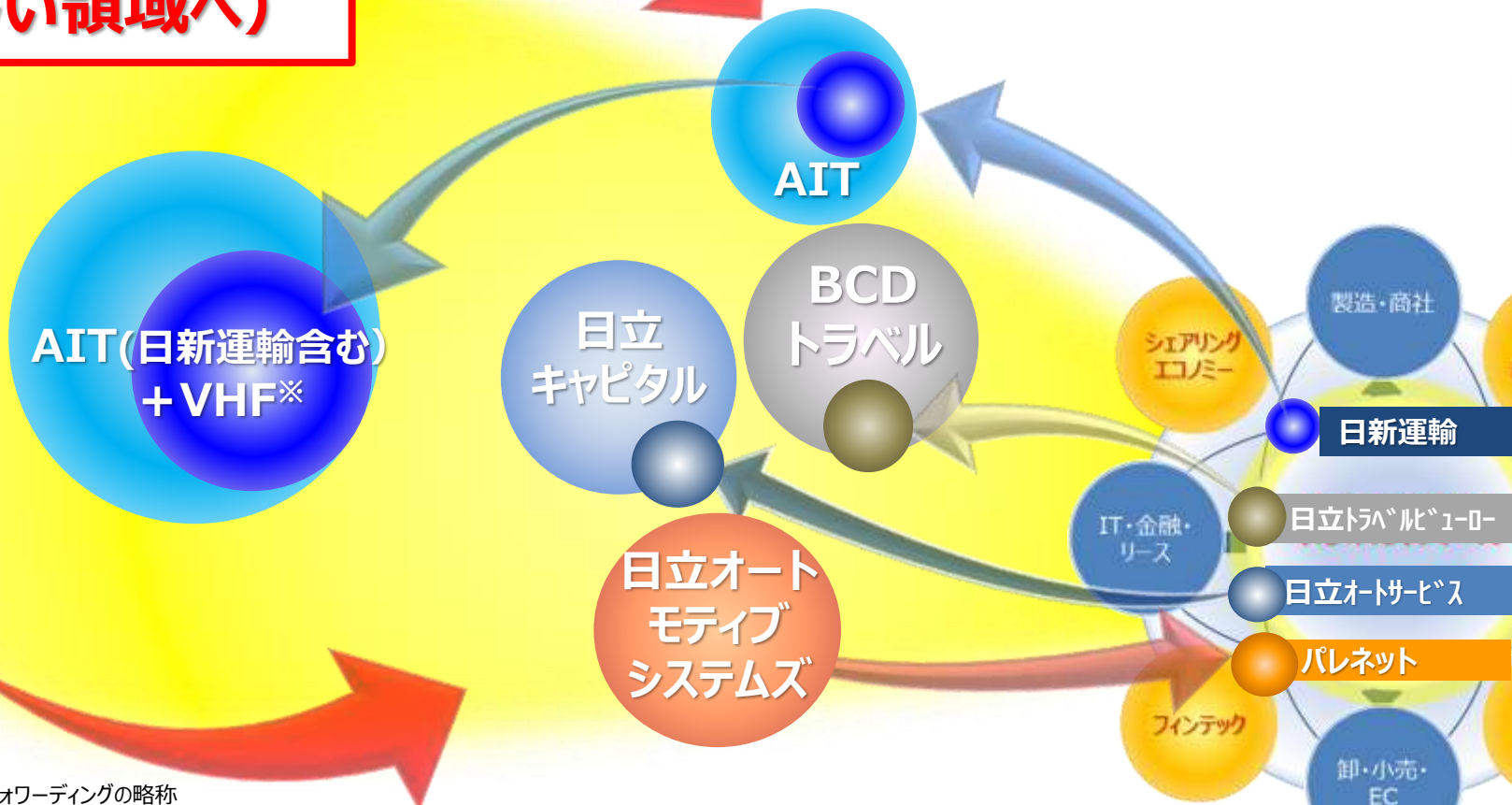
	上期		下期		通期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
FY18(実績)	230	6	241	4	471	10
FY19(計画)	241	6	242	6	484	12
FY19(見通し)	実績 231	実績 3	189	4	421	7

景気後退・米中貿易摩擦影響による
フォーワーディング事業の収益悪化を
織り込み



エコシステムの形成 (新しい領域へ)

- 2019年 2月：日立オートサービス株式40%を日立キャピタルに譲渡
- 2019年 3月：日新運輸株式100%とエーアイティー株式20%を株式交換
- 2019年 7月：日立トラベルビューロー株式70%をBCDに譲渡
- 2019年 8月：日立オートモティブシステムズよりパレネット株式70%を取得



※(株)日立物流バンテックフォワーディングの略称



ECプラットフォームセンター稼働（2019年9月稼働・埼玉県）



特徴

- 複数荷主、同一オペレーション化
- シンプルな従量課金型
(Pay per useの導入)
- 自動化・オンデマンド技術導入
により、従来比約70%の
省人化を実現

お客様のECビジネス拡大をサポート

詳細は当社Webサイト掲載の10月30日付ニュースリリースをご参照下さい



徹底した自動化・省人化を支える新技術

動画



自動製函機



自動搬送コンベア



AGVピッキング



AIによる画像認識技術を活用

画像検品システム
(導入準備中)



自動納品書投入機



自動封函機



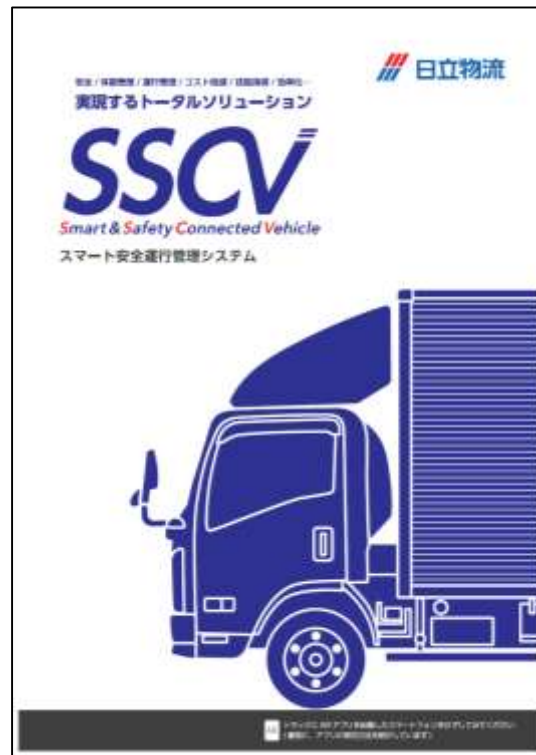
オンデマンドプリンター(ロゴ印字)

事故ゼロ社会の実現をめざして ～SSCVソリューションの本格展開～



【2019年度導入台数】～SSCV-safety～

国内グループ車両に1,300台導入
+α（輸送協力会社他への外販）



AR技術を活用したパンフレット
(冊子にスマホをかざすと動画が自動再生)
※再生には専用アプリのダウンロードが必要です

5Gを活用した物流領域の高度化（KDDIと共同検討開始）

次世代高速通信・画像認識技術で「安全・安心」「整流化」「効率化」された空間の実現へ

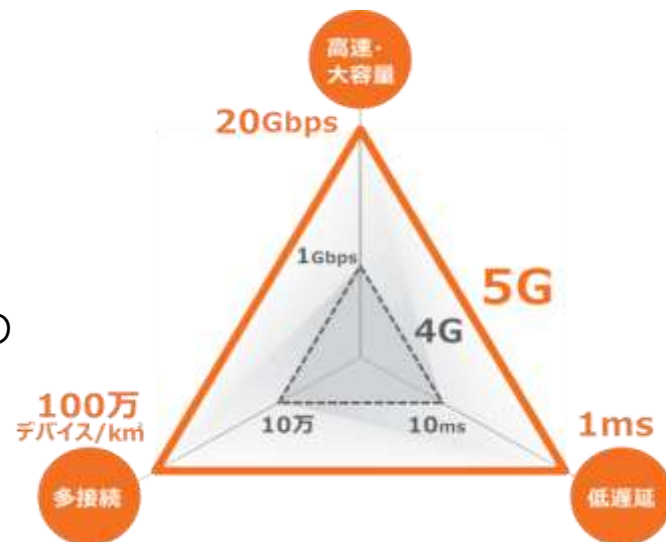
実証実験の概要

✓日立物流の首都圏地区のアセットに5G環境を構築し、
実フィールドでの各種実証実験を実施

- ・AIによる行動認識により、健康状態や動態をリアルタイムに把握し、安全かつ作業者にやさしい職場環境を構築
- ・高精細カメラやウェアラブルデバイスなどを複合的に活用し、作業者の庫内最適配置による運営効率化と整流化を実現
- ・画像認識技術およびAIなどの利用による各種検品作業などの高速化・省人化

✓KDDIが有するビジネス開発拠点「KDDI
DIGITAL GATE」を活用した基礎技術の実証

<期間：2019年11月から2020年10月>



補足資料について

〔IFRS第16号適用影響、財政状態、
キャッシュ・フローの状況 他〕



IFRS第16号「リース」の適用影響

項目		【IFRS16号適用前】 2019年度 第2四半期	影響額	【IFRS16号適用後】 2019年度 第2四半期
総資産	(億円)	6,111	2,669	8,780
親会社株主持分	(億円)	2,287	-12	2,275
売上収益	(億円)	3,412	-5	3,408
営業利益	(億円)	152	13	165
親会社株主に帰属する 四半期利益	(億円)	121	-12	109
親会社株主持分 四半期利益率 (ROE)	(%)	10.7※	-1.0	9.7※
総資産利益率 (ROA)	(%)	3.9※	-1.4	2.5※

※ 年換算



(単位：億円)

項目	2018年度	2019年度	
	通 期	第2四半期	増減額
(資産の部)			
流動資産	2,587	2,524	-62
非流動資産	3,539	6,255	2,716
資産の部合計	6,125	8,780	2,654
(負債の部)			
流動負債	1,225	1,598	373
非流動負債	2,611	4,842	2,231
負債の部合計	3,836	6,440	2,604
(資本の部)			
親会社株主持分	2,223	2,275	51
非支配持分	66	65	-1
資本の部合計	2,289	2,340	50
負債・資本の部合計	6,125	8,780	2,654



(単位：億円)

項目	2018年度	2019年度	
	第2四半期累計	第2四半期累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	153	392	239
投資活動によるキャッシュ・フロー	-68	-30	39
財務活動によるキャッシュ・フロー	334	-224	-557
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	-7	-11
現金及び現金同等物の増減	423	131	-291
現金及び現金同等物の期首残高	635	1,084	449
現金及び現金同等物の期末残高	1,058	1,215	158



主要財務指標等

項目		2018年度 通期	2019年度 第2四半期
親会社株主持分 (○は親会社株主持分比率(%))	(億円)	36.3 2,223	25.9 2,275
1株当たり親会社株主持分	(円)	1,993.25	2,039.34
基本的1株当たり親会社株主に帰属する四半期利益	(円)	204.27	97.56
親会社株主持分四半期利益率 (ROE)	(%)	10.7	9.7※
総資産利益率 (ROA)	(%)	3.9	2.5※
株価純資産倍率 (PBR)	(倍)	1.65	1.55

※ 年換算

主要営業費用

(単位：億円、()内は構成比(%))

項目	2018年度		2019年度			
	第2四半期累計		第2四半期累計		前年同期	
					比率	増減
外注費	(51.0)	1,795.7	(49.3)	1,679.6	94%	-116.1
人件費	(23.8)	838.9	(23.9)	813.1	97%	-25.8
賃借料	(7.7)	270.1	(3.3)	113.0	42%	-157.1
償却費	(2.7)	94.8	(7.6)	258.3	272%	163.5

・IFRS第16号「リース」の適用により、昨年度はリース料(賃借料)として計上していた一部の費用は、本年度から、減価償却費と支払利息(営業費用外)に分けて計上しています。

設備投資

(単位：億円)

項目	2018年度		2019年度
	第2四半期累計	通 期	第2四半期累計
自家投資額 ^{※1}	89.6	177.6	90.7
(参考)賃借 ^{※2}	113.1	393.1	35.6

※1.固定資産計上ベース ※2.契約年数換算値

(参考) 人員^{※1}

(単位：人)

項目	2018年度		2019年度
	第2四半期末	通 期	第2四半期末
社員	25,396	24,139	24,248
パート・派遣社員等 ^{※2}	23,138	22,156	21,827
計	48,534	46,295	46,075

※1.持分法適用関連会社人員を除く ※2.シニア社員を含む

参考資料

業態別実績（概算値）

（ ）内は顧客関連資産償却費を除く（単位：億円）

		2018年度 第2四半期累計			2019年度 第2四半期累計		
		売上収益	営業利益	営業利益率	売上収益	営業利益	営業利益率
	国内	1,793	92.7	5.2% (5.2%)	1,872	111.5	6.0% (6.0%)
	海外	410	18.4	4.5% (5.0%)	394	25.3	6.4% (6.9%)
	3PL	2,203	111.1	5.0% (5.2%)	2,266	136.8	6.0% (6.2%)
	国内	242	0.1	0.0% (0.9%)	152	1.2	0.8% (2.2%)
	海外	394	11.2	2.8% (3.4%)	356	2.9	0.8% (1.3%)
	フォワーディング	635	11.3	1.8% (2.4%)	508	4.1	0.8% (1.6%)
	国内	339	9.5	2.8% (4.1%)	311	8.2	2.6% (4.0%)
	海外	243	6.5	2.7% (3.0%)	230	7.1	3.1% (3.4%)
	オート	582	16.0	2.8% (3.6%)	541	15.4	2.8% (3.8%)
その他サービス		104	10.0	9.7% (9.7%)	92	9.0	9.7% (9.7%)
合 計		3,524	148.5	4.2%	3,408	165.2	4.8%

※全社費用の配分方法を一部変更。尚、上記実績値は当該変更を反映した数値。